



**問**

久慈川洪水対策を強化すべきではないか  
防災訓練時の避難状況をみながら検討する

新政とうかい 村上 邦男 議員

**議員** 昨年県内の鬼怒川が決壊し、甚大な被害をもたらした。東海村でも久慈川があり他人事とは思えない。万が一堤防が決壊した場合、村のハザードマップでは、沿岸地域の避難所はいずれも高台であり、そこまでの避難が間に合わないことも想定される。洪水が収束するまでの間、一時的に避難する一時避難所（日立市留町設置）を設置すべきと思うが。



久慈川

**問** 災害時の危機管理体制を強化すべき

**答** 状況の変化に伴った情報発信を心掛ける

**議員** 1月14日の午後7時過ぎに、

白方中央地区周辺で停電が発生したが、村から停電を知らせる放送がなく、多くの村民から苦情が殺到したと聞く。村民の不安払しょくを図るためにも即座に第一報を放送できる仕組みの体制を整えるべきと思うが。

**村民生活部長** 今回を契機に被害状況が不明であっても、防災行政無線で第一報を報じると共に、状況の変化に伴う情報発信を心掛ける。また、災害時の職員役割分担に基づき、担当職員が防災行政無線放送ができるような研修会を実施する。

**問** 「まちづくり協議会」をどう進めるのか

**答** 地区に提案をしながら進めていく

**議員** 本年度より行政協力員制度が廃止となるが、今後役場からの業務

取扱文書等はどうなるのか、また、まちづくり協議会への移行は行政指導が必要ではないか、さらに役場の組織や業務の見直しも必要と思うが。

**村民生活部長** 今後は単位自治会と協定書を締結し、進めていく。またまちづくり協議会への移行は強制ではなく「してはどうか」と言う提案をしながら進めていく。さらに、組織や業務の見直しは、協議会への移行の進捗状況を勘案し、検討してい



防災行政無線